



松野下 妙子 さん (45)

まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.31

NPO 法人たんぽぽ / 田布川町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、NPO 法人たんぽぽの介護福祉士取材しました。



平成25年に地域の高齢者の寄り合い場として地域ふれあいサロンたんぽぽを開設し、平成27年からデイサービス事業を開始しているNPO法人たんぽぽ。今回は、そんなNPO法人たんぽぽで介護福祉士として働く松野下妙子さん取材しました。松崎出身の松野下さんが1歳8カ月のころ、聴覚障害があることが発覚。松野下さんの両親は、「社会に出てからが本番。障害があっても、障害のない人の中で生きていけるように」との思いから、幼稚園時代は一週間のうちろう学校に3日、地元の幼稚園に3日通っていたそうです。その後、地元の小・中学校に通い、合間合間に県外の学校で読唇技術や手話も身につけました。

桜山中学校を卒業した後、親族の経営していた建設会社で働くため、薩南工業高校で建築、専門学校で測量を学び、株式会社有園建設で働き始めます。その後、結婚して出産、育児を経てB型事業所にパートで働いていましたが、松野下さんの母で現在NPO法人たんぽぽの代表を務める山下とし子さんがサロンを開設することになり、介護職へ転身しました。介護福祉士や認知症介助士などの資格も取得した松野下さんは、デイサービスで事業所の管理者として労務管理などを行っています。また、利用者の皆さんとレクリエーションや脳トレゲームを通じて笑顔でコミュニケーションを図り、一人一人に合ったケアを心掛けています。

聴覚障害を抱えながら働く中で困ったのが、新型コロナウイルスの影響でマスク生活が始まったことでした。口元が見えなくなってしまうため、唇の動きでコミュニケーションがとれなくなってしまうのです。しかし、良かったこともありました。リモートでの会議や研修が増えたことで、パソコンの画面に話していることを字幕化するソフトが使えるようになったのです。

この仕事の魅力は、利用者さんやそのご家族から感謝の言葉をいただけること。そして松野下さんの今後の目標は、障害がある人とならない人の懸け橋となり、障害がある人を支える事業も考えていきたいと話していました。

スポーツ・文化 イベント情報

南溟館

開 9:00 ~ 17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

ART ORIGATION 2023

鹿児島県内外で多種多様な視点で日々創作活動に取り組んでいる本県ゆかりのアーティストによる展覧会を先月30日から開催しています。公募形式で選ばれた5名のアーティストの作品をお楽しみください。

- 会期 12月24日(日)まで ※月曜日休館
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料
- 出品作家 清水香、純浦彩、田中千紜、中村孝太郎、森島里香



南溟館年末年始休館

南溟館は下記の期間、新春企画展準備も含む年末年始の休館期間となります。

●期間 12月25日(月)~1月4日(木)

枕崎かつおランニング Day

1月21日(日)、枕崎かつおランニングDayを開催します。本イベントでは、野球場と総合グラウンドの敷地内に1km周回コースを設置し「枕崎新春かつおジョギング大会」と「枕崎リレーマラソン」を同日に開催します。

枕崎リレーマラソンは、チーム(1チーム2~10人)で60分間どれだけの距離を走破できるかを競います。詳細やエントリーについては、ホームページをご覧ください。

- 問合せ 枕崎かつおランニングDay実行委員会事務局 TEL76-1347



▲新酒まつりのふるまい酒

今月の担当は りんね隊員です!

こんにちは!地域おこし協力隊の中村りんねです。

枕崎市で過ごす2回目の冬が来ました。急に寒い日が続くようになりましたが、皆さん体調は崩されてないでしょうか?私は早めにこたつを出して、この寒さをしのいでいくつもりです。



地域おこし協力隊 活動レポート

協力隊が行く!

新酒祭り

10月29日に薩摩酒造の「新酒まつり」が花渡川蒸溜所明治蔵で開催されました。明治時代から続く老舗焼酎蔵の祭典として4年ぶりに開催され、県内外から約6000人の焼酎ファンが訪れました。

会場には特設ステージが設けられ枕崎出身のバンドや枕崎火の神太鼓の演奏、チャリティービンゴ大会なども開催されました。また社員手作りの料理や地元飲食店のブースが多数出店し、訪れた人たちは食事と共に新酒を楽しみ、私も焼き鳥と新酒を楽しみました。新酒はさつまいもの香りとコクのある甘みがありとても飲みやすく「何杯でもいける」と感じました。さらに、枕崎市の友好都市である北海道稚内市の特産品ブースもあり、多くの人々が稚内市の特産品を購入していました。私が買いに行こうと思ったときにはすでに完売していました。稚内市の特産品で、焼酎を飲みたかったんです。

大盛況で終えた新酒祭り。これから年末年始に向け、皆さんも焼酎を飲む機会が増えると思います。もし、まちで会ったらぜひ声をかけて下さい。白波で乾杯しましょう!

枕崎カツオマイスター検定

本で行われるカツオマイスター検定は、枕崎漁港で水揚げされるカツオやかつお節に関する知識を問うだけでなく、実際に現場を訪れ自ら手を動かして体験することができる検定です。カツオの三枚おろし・かつお節の削り体験・カツオ学の実地研修などさまざまなカツオに関することを学ぶ事ができます。

そして、今回が記念すべき第10回目となるカツオマイスター検定に私も参加します。カツオやかつお節にまつわる知識を深めながら、地元の魅力を存分に学んできたと思います。これからカツオ・かつお節について少しでも語れるようになりたいです。合格を目指して頑張ります!この号が出る頃には合格が出ているので期待してください!



▲カツオマイスター検定でのかつお節削り体験

市長

コラム

vol.56



リスタートの年、年末年始も明るく前向きに。

2020年の年初からはじまったコロナ禍。今年2023年の5月に感染症分類が5類となり、社会経済活動が3年ぶりによく正常化へ向けて動き出しました。欧米各国と比べると1年遅れの感がありますが、いずれにせよ今年がコロナ禍明けのリスタートの年となったことは間違いありません。

そのリスタートの年も12月、今年はどうな年だったのでしょうか。昨年3月にはじまったロシアのウクライナ侵攻は1年半以上が経過した現在も終息せず、また戦闘が続いています。日本周辺に目を向けると、中国の軍事的脅威、台湾情勢も予断を許さない状況で、北朝鮮は相変わらずミサイル発射を繰り返しています。また10月にはイスラム原理主義組織ハマスとイスラエルの衝突が泥沼化しており、地政学的なリスクが世界中で高まっている状況です。我が国の経済に目を向けると、さまざまな世界的要因によるコストプッシュ型のインフレが加速し、物価高や値上げに賃金の上昇が追いつかず、庶民は厳しい生活を強いられています。国の経済対策も国民の支持を得られない状況で、私たちの暮らしの先行きは不透明な状況と言わざるを得ません。

そのような中でも世の中は確実に動き出しています。再起動をはじめていきます。ここ枕崎でも、今年はいろいろな活動が再開しました。台風で中止となりましたが、きばらん海もフルバージョンで計画されました。小中高等学校の運動会・体育祭も入場制限なしで開催されました。また鹿児島県では、特別国民体育大会燃ゆる感動が盛んに開催されました。観光需要も少しずつ戻ってきています。国内外は、いろんな課題の中にもありますが、時代は確実に動き出しています。今こそ前向きに取組んで、年末年始に向けて空気を明るく変えてまいりましょう!